

狛江市のハザードマップによると、パーク・ハイム狛江周辺は多摩川が氾濫した場合*、最大浸水深さが3m~5m未満の浸水想定区域となっています。もしも5mもの浸水被害が起きた場合、パーク・ハイム狛江では2階までの居室が浸水してしまいます。1階にある電気室や受水槽室をはじめとする設備関連室、管理事務所も含まれます。*多摩川流域での48時間の総雨量が588mmという、概ね200年に1度起こる程度の大雨を想定

■台風など水害が予想される場合に準備しておくこと

● 暴風対策/バルコニーの片付け、必要に応じてガラス窓の補強など

● 停電対策/懐中電灯、ランタン、電池、ラジオなどの準備

● 断水対策/飲料水の確保、風呂に水を溜めるなど

● 浸水対策/逆流防止にトイレ、浴室、洗濯機排水口に水のうを置く。
水のうはビニール袋に水を入れて作る。



● その他/簡易トイレの準備、食事を早めに作っておくなど、各家庭に必要な準備

● 日頃からの準備も忘れずに/
3日分以上の食料・飲料水・簡易トイレの備蓄



資料編 7

現在、パーク・ハイム狛江防災対策チームでは、災害発生時に管理組合・自治会の行動指針となる災害対策本部運営マニュアルを作成しています。2018年に『水害編』を残して完成しましたが、残念ながら2019年の台風19号被害までに『水害編』は出来上がっていませんでした。今後「水害編」が完成したのち、全戸に配布している『パーク・ハイム狛江 防災ハンドブック』の改訂版を発行する予定です。それまでこの『防災ハンドブック水害編』チラシをお手元の2015年版防災ハンドブックにはさんで保管しておくようお願いします。

刻一刻と状況が変わる台風などは、情報収集が重要です。正確な情報を集め、早めに避難をして身の安全をはかりましょう。

■ 情報収集の方法を知っておこう

● テレビやラジオによる情報収集

* 狛江市コミュニティFMラジオ 『85.7MHz コマラジ』

PC やスマートフォンでも聴取可能。「コマラジ」で検索。

● 携帯電話やパソコンを使っでの情報収集

* 狛江市のウェブサイト

Twitter でも防災情報を発信



* 京浜河川事務所

多摩川の水位・ライブカメラ



* パーク・ハイム狛江防災対策チーム ウェブサイト

bosai.ph-komae.info

災害時/災害が発生しそうなどとき、可能な限り防災情報を掲載します。



● 狛江市の防災無線や広報車

● パーク・ハイム狛江管理事務所からの全戸一斉放送

あとから聞くにはインターホンの「ホーム」→「お知らせを見る」→「放送録音を聞く」

■ 身の安全を第一に考え、早めに避難しましょう

1・2階の方は、上層階に避難しましょう。

狛江市には何か所かの避難所が開設されますが、避難所までの経路に危険があるかもしれないこと、受け入れ人数に限りがあるため入れない場合があることから、上層階への垂直避難を推奨します。上層階の方は、1・2階の方が避難してくる可能性があることを念頭に入れておきましょう。日頃からのご近所づきあいが、災害時の共助につながります。